



これまでネタを探す方法についていろいろ紹介してきた。今回は、このために役立つキーワードとその使い方について、紹介することにする。広大なインターネットの海底にはネタの鉱脈が眠っており、鉱脈を見つけるキーワードの使い方ひとつで、宝の山が見つけれられるのである。

第二十一話 ネットを探す方法（4） キーワードの活用

今回はキーワードに注目して、ネタを見つけるのに役立つキーワードとその使い方を紹介しよう。前回までは、特定の目的のために役立つキーワードをいくつか紹介してきた。

前回は、日本人の気がつかない意外性を知るための方法について紹介した。このキーワードとしては、「外国人」と「日本人」がある。検索エンジンで、{外国人に人気}、{外国人に聞く}、{外国人 びっくり}、{外国人 不思議}、{外国人 興味}、{外国人 不満}などとキーワード検索すればよい。

この「外国人」を、「アメリカ人」、「中国人」、「韓国人」などと入れ替えれば、さらに色々な意外なネタが入手できる。これらの検索の場合、「日本 中国人に人気」という具合に、「日本」を付け加えるとよい。

「日本人」では、{日本人の知らない}、{日本人 気がつかない}などと検索すると、我々が普段気付かない雑学に関する記事が、たくさん見つかる。もう少し詳しく調べたければ、関心のあるキーワード XXX を付け加えて、{日本人の知らない XXX}と検索すればよい。

今回は、個別のケースではなく一般的に利用できるキーワードを紹介する。我々が当たり前と思っている正常な状態からの大きな変化や転換について注目することにする。

このネタを見つけるには、3種類のキーワードの組み合わせが有効である。キーワード A は、平常な状態からの大きな変化を示唆するキーワードである。例えば、

「異常」、「異例」、「逆転」、「波紋」、「転換」、「交代」、「変更」、「記録的」、「ブレイク」、「空前」、「初」、「崩壊」、「破綻(破産)」、「暴落(急落)」、「暴騰(急騰)」、「改善」、「改革」、「予想外」、「想定外」、「期待はずれ」、「誤算」、「嘘」などなど。

これらの用語は、他の用語と組み合わせられ使用される場合が多い。例えば、「異常事態」、「異常措置」、「異常気象」、「異常現象」、「世代交代」、「トップ交代」、「新旧交代」、「覇権交代」、「政権交代」、「社長交代」、「首位交代」、「世界初」、「日本初」、「史上初」、「大会初」などなど。

タイプ B は、日常当たり前になっていることや当たり前に存在していることを示す用語で、「常識」、「定説」、「定石」、「神話」、「路線」、「既定」、「不平等」、「格差」「差別」といった用語で、後述のタイプ C と組み合わせて利用するのである。

これらの用語も、他の特定の表現と組み合わせられて使用される場合が多い。「間違った(間違いだらけの)常識」、「定説が覆る」、「神話の崩壊」、「路線の変更(転換)」、「格差の是正」、「差別の撤廃」などなど。

タイプ C は、検索者の関心事のある分野や事柄に関するキーワードで、国家、政治、経済、歴史、社会、業界、自然現象、科学技術などなどあらゆる領域や、人名、動植物名、地名などの具体的な名称も含まれる。例えば、「スポーツ」、「医療」、「美容」、「株価」、「景気」、「観光」、「福島」、「ギリシャ」などなどである。

タイプ D は、検索者の関心のある用語で対語としてペアで検索に利用するキーワードがある。例えば、「日本 世界」、「日本人 アメリカ人」、「男性 女性」、「人間コンピュータ」、「輸入 輸出」、「老人 子供」、「携帯電話 スマートフォン」などなどである。

具体的に検索する場合、タイプ A とタイプ B の用語を、タイプ C とタイプ D の用語と組み合わせて利用するのである。

タイプ A とタイプ C の用語の組み合わせ例としては、例えば、「逆転」は、「日米逆転」、「日韓逆転」、「日中逆転」、「逆転判決(裁判)」、「男女逆転」がある。これらの場合、「日本 韓国 逆転」、「男性 女性 逆転」といったキーワードの組み合わせ表現法もある。

これで検索すると、次のような記事見出し(簡略化して記載)が見つかる。『家計貯蓄率の日米逆転』、『失業率の日米逆転』、『購買力平価で日韓逆転』、『女性の収入、男性を抜く』、『飲酒、女性が男性を上回る』、『生命保険の加入率 女性が男性を抜く』などなど。

また、{輸入 輸出 逆転}と検索すると、『日本、家電の純輸入国へ』、『本場なのに、韓国はキムチ輸入国』、『太陽電池 輸出から輸入へ逆転』、『転換期を迎えた石化製品の輸出入』、『2007年、日本の輸出先が米中逆転』、『まぼろしの技術輸出大国』といった具合である。

また、「常識」では、「経済(社会)の常識 うそ(嘘)」、「世界の常識 日本の非常識」、「薬の常識 間違い」などといった表現法がある。「神話」では、「安全神話」

「不倒神話」「不敗神話」「成長神話」「土地神話」「学歴神話」「常勝神話」といった組み合わせ表現があり、{安全神話の崩壊 XXX}といった具合で、検索すればよい。

{常識 うそ}、「{常識 誤った}といったキーワード検索でも、たくさんの資料が見つかる。経済、医学・薬、健康・ダイエット、スポーツ、歴史、科学といったキーワードと組み合わせれば、興味深い資料がたくさん見つかる。ネタの種探しに、困らないのである。

簡単で興味深いのは、「名称変更」というキーワードである。前に紹介したスポーツ選手の「国籍変更」（第18話）と同様に、背後に大きな問題や理由が存在するからである。人・企業・自治体・国家や製品・サービスなどの名称変更を調べると、面白い発見がある。

昨今、企業の名称変更は多い。経済の激動に伴い、経営破綻、経営統合、業態変更などに迫られているからである。ここ数年間に社名変更した大企業に、富士フィルム（旧富士写真フィルム、2006年）、三菱東京UFJ銀行（旧東京三菱銀行と旧UFJ銀行が合併、2006年）、パナソニック（旧松下電器産業、2008年）等がある。大学の名称変更も多い。これは18歳人口の激減、女子学生の社会意識の変化などによるところが大きい。

医薬品や病名の名称変更も、数が多い。具体的な企業名や医薬品名の紹介は差し控えるが、病院では処方箋ミスの事件が結構多いことが伺える。病名の変更は、患者の人権問題や世間的な誤解や偏見を取り除く目的でなされる場合が多い。

いずれの場合も、監督官庁が関与せざるを得ないほどの大きな問題であることを強調しておきたい。

ここでのキーワードを用いた意外性を見つける試みは、暇つぶしの積りで試されることをお勧めする。そして、意外性のある記事を発見したら、その記事を種にして、さらに一般化できるか、奥行きのある内容に深められるかについて、次の検索作業に進むのである。

最後に、ここで紹介したキーワード以外にもたくさんのキーワードがある。それらを探すのに簡単な方法として、ここで紹介したキーワードに関する類似語や対語を手掛かりに、ウェブ上の類語辞典や反対語辞典を利用することをお勧めする。

☆☆

WebCR 編集部からのお知らせ

本誌に連載／掲載されている記事に関するご質問、ご意見をお待ちしております。近い将来に予定されているプロジェクトに先立って不安や問題点の確認をなさりたい方、現在進行中のシステムのプロジェクトマネジメントにおけるトラブル関連など、何でも結構ですので、下記メールアドレスまでお寄せ下さい。

cr-info@jmsi.co.jp

☆☆